

## 「いい電」に乗って



7月2日(金)は、今年1回目の『いい電に乗ろう』でした。年少組と年長組、あわせて38名みんなで電車に乗って、桜水駅の車両基地に行きました。まだまだ小さな4歳と5歳の子どもたちを連れて行くのですから、わたしたちも心配がないわけではありませんでした。引率ボランティアのお母さんが6名も一緒に行ってくださったので、安心して子どもたちを電車に乗せることができました。

その引率ボランティアのみなさんの感想を、一部ですが、紹介させていただきます。

- 電車に乗るのが初めての子がたくさんいて、「もう一回乗りたい！帰りも乗るの？」とすごく楽しそうに話していました。「危ないから前を見て歩くんだよ。」とお友だちに声をかけている子がいて、素敵だなと思いました。
- 電車に乗って、動いたときの感動が、子どもたちの目のキラキラしている様子からわかりました。「電車に乗れて楽しかったね・・・。」と帰りもずっと話していて、心に残る思い出になったんだなと思いました。
- ちゅうりっぷ組の子どもたちを見て、1年前はひまわり組の子どもたちも「まだ幼かったんだな」と懐かしく思うとともに、すっかり頼もしいお兄さんお姉さんになったんだなと感動しました。
- ホームで「白い線から出ちゃだめなんだよ。教えてもらったんだ・・・。」と私に話してくれる子がいました。「子どもは本当に素直で、先生、親、大人に言われたことは絶対なんだろうな・・・。」と思い、大人として私も、子どもに対しても、行動や話すことに責任をもたなくてはならないなと、改めて思わせてもらいました。
- 子どもたち一人一人ががとても楽しそうでした。そんな姿を間近で感じられて私もとても楽しかったし、うれしかったです。挨拶、お礼も元気にできていて素敵でした。みんな最後まで弱音もはずさず歩き切りました。とても素敵でした。
- 今回初めて引率として参加させていただきました。普段の幼稚園での姿を間近で見ることができてよかったです。今回楽しく参加させていただきましたので、また機会があったら参加したいなと思いました。

子どもたちが目をキラキラ輝かせるのを見たり、成長した姿にふれたりできる「教育」「保育」の場は、ほんとうに楽しくて面白いのです。そして、子どもに教えられることもあります。

子どもたちの純粋で素直な姿を見ていると、わたしたち大人も本当に明るく元気になります。力が湧いてくるような気がします。子どもの世話をしているのに、実は、力をもらっているのは私たちの方なのかもしれません。これからも様々な場面で、ボランティアをお願いしなければなりません。できる範囲の中で、たくさんの皆様にご協力をいただければと思っています。

